

伊丹市環境基本計画

(第3次)
(中間改訂版)



～自然と都市機能が調和した快適でうるおいのあるまち～



令和7年(2025年)3月

伊丹市



ごあいさつ

「有馬山　みなものささ原　風吹けば　いでそよ人を　忘れやはする」
（大貳三位、紫式部の娘）の和歌に代表されるように、伊丹は古くから
風光明媚な自然環境を持つ土地であり、これまで本市では身近な環境問
題として、都市化で失われた伊丹本来の自然環境を取り戻すため、市民
や市民活動団体等の皆様とともに自然環境の保全・再生を進めてまいり
ました。その取組の成果として、猪名川水系ではアユの遡上やオオサン
ショウウオ、昆陽池ではホタルやアオバズクが見られ、さらにコウノト
リが飛来するなど、自然環境は、以前の姿を取り戻しつつあります。



一方で、世界規模の環境問題である気候変動も重要な課題となっており、本市ではゼロカーボンシ
ティを宣言し、市民・事業者の皆様と一体となって 2050 年カーボンニュートラルの実現を目指して
いるところです。その一環として、公共施設への再エネ電力や太陽光パネルの導入といった市として
できる対策を率先して行うとともに、市民・事業者の皆様へ脱炭素の取組支援を実施しています。

このような中、このたび本市では 2021～2028 年度の 8 年間を計画期間としている伊丹市環境基
本計画（第 3 次）を前期 4 か年の実績や社会情勢の変化を踏まえ、後期 4 か年に向けて見直しました。

今後も、先人が守り築き上げてきた環境を未来へ繋ぐため、環境施策を総合的かつ計画的に実施し
てまいります。市民・事業者の皆様には、引き続き、持続可能なまちづくりにご理解とご協力をお願い
いたします。

最後になりましたが、本計画の中間見直しにあたり、伊丹市環境審議会の委員をはじめ、ご協力いた
だきました皆様に心よりお礼申し上げます。

令和 7 年（2025 年）3 月

伊丹市長　藤原　保幸

目 次

第 1 章 環境基本計画の基本的事項

1. 計画の位置づけ	2
2. 計画の期間	2
3. 計画の主体	3

第 2 章 環境の現況と課題

1. 社会情勢の変化	6
2. 本市の現状と課題	8

第 3 章 環境の目標と施策

1. 環境の将来像	22
2. 基本目標	22
3. 施策関係図	22
4. 施策体系	24
基本目標 1 気候変動に対応するまち	26
① 気候変動の緩和策	26
② 気候変動の適応策	28
基本目標 2 資源が循環する環境に配慮したまち	30
③ 廃棄物の発生抑制・再使用等の推進	30
④ 食品ロスの削減	32
基本目標 3 自然環境と共生し生物多様性が保全されるまち	34
⑤ みどりの充実	34
⑥ 生物多様性の保全	36
基本目標 4 良質な都市空間の整備と生活環境が保全されるまち	38
⑦ 生活環境の保全	38
⑧ 良質な都市空間と住環境の形成	40
⑨ 安全で快適な道路空間の整備	42
基本目標 5 環境意識と協働の輪が広がるまち	44
⑩ 多様な主体が連携協力する体制の推進	44
⑪ 環境教育・環境学習の推進	46

第4章 環境基本計画の進行管理

1. 計画の推進体制	50
2. 進行管理の仕組み	51
3. 参考指標	52

資料編

1. 市の概況	54
2. 環境審議会等	70
3. 環境基本計画（第3次）策定・改定の検討経過	71
4. 用語集	73